



放課後学習支援ゆめの木教室

子どもの国 だより

特定非営利活動法人 子どもの国
2025年12月発行 Vol.53



ゆめの木教室



子どもたちのようす

1年生

ほとんど欠席もなく、元気よく来ています！ゆめの木の学習にもよく慣れ、進める課題もしっかり把握できています。ひらがなの読み書きの力もついてきました。みんなでやる学習も元気な声で発表できます。



3年生

九九がだいぶ早く出来るようになりましたが、6の段以上は少し難しい様子。少しずつ割り算の練習にも取り組み始めています。漢字が少し苦手なMちゃんは、漢字カードを使ってクイズのようにしながら楽しく漢字を覚えています。



6年生

卒業まであと半年足らずです。自分の苦手なところを復習しながら中学での学習に備え頑張っています。



2年生

7月から取り組んでいる九九を覚えようと全員真剣に取り組んでいます。毎回元気に入室し、意欲的に学習に取り組んでいます。10月に入ってHI君・HA君は「ゆめの木たし算・ひき算検定」を修了しました!



4年生

まじめに学習に取り組んでいます。今年度から高学年の4年生です。新しい日本語がたくさんでてきます。しっかり学習しましょう。



5年生

5年生のN.Aさんはスタッフの手伝ったもらいながら、タブレットで国語や算数の学習に熱心に取り組みました。（タブレットの問題は国語はなかなか難しく、今後も少しでも子どもたちの助力をしていきたいと思います。）



中学生

中学生の時にゆめの木教室に通っていたVさんがスタッフとして教室に参加してくれています。しっかりした指導ぶりが頼もしい限りです。



幼児日本語教室

たけのこ



日本語教室
開催園



相談のみの園

保見教室 / 美和教室 / 伊保教室 / 東山教室 /
梅坪教室 / 堤ヶ丘教室 / 宮口教室

大林こども園 / 足助もみじこども園 / 平井
こども園 / 高美こども園

6月から9月までの教室での子どもたちの元気な様子と学習の成果をご報告いたします。

幼児日本語教室たけのこでは、幼児期に必要な遊びを通して、日本語の基礎と、園生活に必要なコミュニケーション力を身につけられるよう、段階的に活動を進めてきました。



聞く・話す



挨拶、出欠確認、姿勢
口の体操と発声練習
(/pa/ta/ka/)

読む



50音表の発音練習、ひ
らがなの歌。ひらがな
を見て関連するもの
の名前を答える練習。

書く



鉛筆の持ち方、運筆練
習、そして「自分の名
前」の練習。

生活の言葉



時計の読み方、カレン
ダー、「きのう・きよ
う・あした」、天気、
様々な名詞に触れる。



子どもたちの成長の様子（所感より）

教室の雰囲気に慣れ、最初は緊張してい
た子も、今では泣かずに積極的に参加で
きるようになりました。少人数のクラス
では、全員がじっくりと課題に取り組む
姿勢が見られ、高い意欲を感じます。

（宮口こども園、堤ヶ丘こども園など）

ただ聞くだけでなく、「先生は何を
聞いているのかな？」と考えてから
発言する姿も見られるようになり、
言葉に対する意識が高まっています。

（宮口こども園）



[左] 粘土で丸や三角など形を作り、形の名前を覚える様子 [右上] ひらがなカードを使つ
て楽しく学ぶ様子 [右下] 活動終了後、園の先生との振り返りをしている様子



社会復帰への道筋をつけた連携支援

人間関係の悩みで離職し、不安定な精神状態から引きこもりという辛い状況にあったMさん。当初は私たちの訪問にも玄関先でさえお会いできない状態でした。しかし、食糧支援（フードパントリー）と、それを届けるための継続的な訪問支援により、半年をかけて確かな信頼関係を築くことができました。Mさんは今、ご自身の力で社会福祉協議会へ足を運び、キャリア支援プログラムに参加されています。「玄関から出られない」状況から「自ら歩き出す」変化は、引きこもりという孤独な戦いからの大きな一歩であり、私たちの大きな喜びです。Mさんが社会との繋がりを再び取り戻し、自信を回復できるよう、就職に向けた「次なる一歩」を共に踏み出します。



そら話し合い

代表井村による「自死を見つめる」講演と話し合い
青少年が直面する重い課題に向き合い、自殺予防に関する意見を出し合い、心の健康と生命の尊厳について深く考える機会を提供しました。

**ドキュメンタリー番組
「ブラジル団地 ふるさとは二つ、世界は一つ」鑑賞**
保見団地の現状を伝えるドキュメンタリーを鑑賞し、地域で生活する外国人青少年の置かれた状況と課題をメンバー全員が深く共有しました。

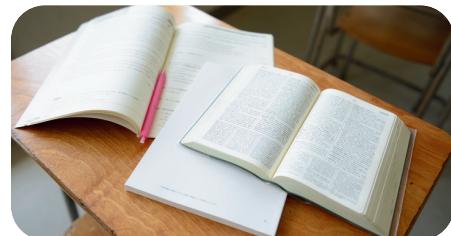


キャリアを切り開く個別学習支援（高校2年生）

ブラジルの大学進学を目指し、学費を貯めるために日本での通訳職を志望しているTさんは、就職条件である日本語能力試験N2合格を目標に掲げました。N2対策ドリルを自宅でも積極的に進め、自習で生じた「なぜそうなるのか」という疑問について、金曜日の「そら」の時間にスタッフが個別に対応し、本人が深く納得できるまで解説を行いました。

フードパントリー（食品の手配り）

生活支援の一環として継続実施しています。食料支援は、単に物資を提供するだけでなく、支援者が継続的に相手の状況を把握し、信頼関係を築くための「対話のきっかけ」となります。



今後も「そら」は、個々のニーズに応じたきめ細やかなサポートを継続し、彼らが社会で自信を持って生活し、それぞれの夢を実現できるよう尽力してまいります。

キャリア塾

2024年、25年度のキャリア塾はトヨタ財団と子どもの国の共同プログラム『キャリア塾』は中学生とその保護者を対象に講師をお招きして、これから自分の自分自身のキャリアの選択肢を増やすことを考えるきっかけとなるよう活動をしています。

2025年7月31日 実施

テーマ：「どう勉強すれば『わかるように』なるのか？」

レクチャー：菅原 ビクトリアさん

夢の木教室の卒業生
子どもの国スタッフ



✿ 「日本語の壁」と学習の悩み

今回はアンケートをとりました。参加した中学生の多くが、英語が好き・得意とする一方で、国語、社会、数学に困難を抱えていることが判明しました。

特に深刻だったのが、学習の土台となる「日本語の壁」です。「漢字や文章の意味がわからない」といった日本語の困難や、「どこから勉強を始めていいかわからない」といった学習方法の悩みが浮き彫りとなり、具体的な解決策が求められていました。



中学時代に取り組んできた学習法を紹介するビクトリアさん

そこで今回は、中学3年生でブラジルから来日し、ゆめの木教室で勉強して高校から南山大学に進学した、菅原ビクトリアさんに、主に「どうやって勉強してきたのか」の勉強法についてレクチャーしてもらいました。

■ 学習法の紹介

数学: ルールをカラーペンで可視化し、わからない用語には母語で意味を追記。

国語/漢字: Google翻訳で意味を調べ、単語帳作成や1日1ページの漢字練習の継続を徹底。

ICT活用: 豊田市で導入されているタブレット教材を用いた効率的な漢字学習法を紹介。

✓ 学習意識に変化

生徒たちからは、「用語の意味を知ること」「まずは教科書をしっかり理解すること」の重要性に加え、「ルーズリーフや赤や緑の下敷きを活用する」といった具体的な学習方略に対する意識変化が見られ、明日からの学習につながる大きな一歩となりました。

2025年9月18日 実施

テーマ：「高校入試について」

レクチャー：福永 文子さん

認定キャリア教育コーディネーター
子どもの国スタッフ



➥ 生徒の意欲向上へ！

愛知県の公立高校の制度改革が頻繁に行われる中、制度を正しく理解し、生徒の学習意欲向上と主体的な学習を促すことを目指しました。

◆ 複雑な入試の仕組みを「見える化」

キャリア塾では、高校の種類といった基本から、私立・公立の入試日程、そして在籍生徒が利用する可能性の高い多様な選抜方法（外国人生徒選抜、推薦選抜など）の概要を分かりやすく解説しました。

特に、次年度から新設される「連携型選抜」も選択肢の一つとして紹介。また、志望校となる可能性が高い定時制・通信制課程についても解説が行われ、生徒たちは多様な進路の選択肢を学びました。



入試制度について解説する福永さん

💡 「日常の勉強」が「入試」に直結！

座学だけでなく、日常の学習が入試に直結することを意識させるため、実際の公立高校「外国人生徒入試」から、数学の基礎的な計算問題を解くワークも実施。参加者は緊張感を持って問題に取り組み、入試への意識を大幅に高めました。

✗ 具体的な行動目標も！

生徒からは「毎日2時間勉強する」「入試に出てくるところを練習する」など、今後の具体的な学習目標や行動を意識したコメントが多数寄せられました。



様々なイベント・講演会に登壇！

2025年5月29日放送

東海テレビ放映ドキュメンタリー

「ブラジル団地 ふるさとは二つ、世界は一つ」

幼児日本語教室「たけのこ」の活動の様子が取り上げられました。

2025年8月29日

にっぽんど真ん中祭り

森井理事が「多様性」の観点から創作ダンスの審査員を務めました。

2025年10月19日

第2回実践交流会

「多様性が生きることばの教育実践2025」

ー私の実践を語り・子どもの姿に学ぶー

主催：東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進機構
共催：文部科学省委託 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（中部ブロック）

幼児日本語教室担当の井村と森井が講師としてお招きいただき、幼児日本語教室で実践している内容や抱えている困難などをお話しさせていただきました。

大勢のボランティアや寄付で支援していただきました

学生ボランティア

9月から中京大学の学生さん（7名）が継続でゆめの木教室のボランティアに来てくれています。



お寺さんからの寄付



お菓子の寄付をいただきました。
みんなでおいしくいただきました！

子どもの国への参加方法

寄付

クレジットカード、銀行振込からご寄付いただけます。



ホームページ

団体概要や過去の子どもの国よりも掲載しています。



SNSもフォローお願いします！



Instagram



facebook

団体名

特定非営利活動法人子どもの国

活動場所

愛知県豊田市保見ヶ丘5丁目1番地
独立行政法人都市再生機構141棟 第2集会所

TEL

090-6096-2340 (平日：14:00～18:00)

E-MAIL

jimukyoku@npokodomonokuni.org

理事

井村 美穂 / 深見 浩子 / 森井 えみ / 金森 節慶

NPO法人子どもの国



<https://npokodomonokuni.org>

子どもの国は、プライバシーと意思を尊重し、写真を使用する際は本人の許可をいただいております。

